

追手門学院大学 上方文化笑学センター 公開講座 演劇で落語に触れる！「演劇落語×月亭遊方落語」

追手門学院大学（略称：追大、大阪府茨木市、学長：真銅正宏）の上方文化笑学センターは10月16日、公開講座「演劇落語×月亭遊方落語」を開催します。

演劇落語とは、話芸である古典落語を題材にした演劇で、俳優が全身を使った身体表現を通して観客の想像力をかきたてるのが特徴です。

本公演は、愛嬌のある風貌と安定した演技で多くの舞台に招かれている坂口修一と東京の演劇ユニット「アトリエ・センターフォワード」代表の矢内文章による二人芝居で、演目「抜け雀」を上演します。また、古典落語をわかりやすくアレンジする落語家・月亭遊方による落語もあり、「演劇落語」と「落語」を合わせて楽しめます。

上方文化笑学センターは、「笑い」を中心とした上方文化に関する情報発信や、コミュニケーションツールとしての「笑い」を、文化や生活、人間関係などの観点から追究するセンターです。今回は「落語」にまつわる舞台芸術作品を取り上げ、学生だけでなく地域の方に、文化・芸能に触れて楽しんでもらおうと開催するものです。終演後は、出演者と上方文化笑学センター員によるアフタートークも予定しています。

2023年
10月16日(月)
18:30開演 (開場18:00)

会場
男女共生センター
ローズWAM ワムホール
大阪府茨木市元町4-7
入場無料 (要申込)

二人芝居
演目「抜け雀」
坂口修一

矢内文章 | 作品+1席 連続上演!

月亭遊方

アフタートーク
公演後に、主演者3名と上方文化笑学センターによるトークセッションを予定しています
【上方文化笑学センター】
広瀬依子、横田修[司会]

古典落語を二人芝居で演じる「演劇落語」と、「落語」を一席、併せてお楽しみください!!

お申込はこちら
<https://ws.formzu.net/dist/S726653391/>
追手門学院大学

主催 (お問合せ)
追手門学院大学 上方文化笑学センター
showgaku@otemon.ac.jp ☎ 072-665-5024

後援
茨木市、茨木市教育委員会、一般社団法人表現者工房

演劇落語×月亭遊方落語

●演劇落語演目「抜け雀」

小田原の相模屋は気のいい夫婦が営む小さな宿だが、大きな宿に客を取られて人気がない。焦るほど妙な客を止めてしまい、主（あるじ）は妻に怒られっぱなし。今夜もやっぱり粗末な身なりの男を泊めてしまい…。金はなくても約束は守るのだ！誠実さが結実する奇跡の物語。

【演劇落語×月亭遊方落語】

- 日 時：10月16日（月）18時30分開演（開場18:00）
- 会 場：茨木市立男女共生センターローズWAM（大阪府茨木市元町4-7）
- 申 込：以下のURLからお申込みください。（事前申し込み制、参加無料）
<https://ws.formzu.net/fgen/S726653391/>
- 主 催：追手門学院大学 上方文化笑学センター
- 後 援：茨木市、茨木市教育委員会、一般社団法人表現者工房

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 仲西・織田

演劇落語

坂口修一×矢内文章 二人芝居

脚本・演出
矢内文章（アトリエ・センターフォワード）

矢内文章の脚本・演出で、古典落語の素材をリスペクトしながら坂口修一との二人芝居でみせる現代演劇シリーズ

演目：「抜け雀（ぬけすずめ）」あらすじ

小田原の相模屋は気のいい夫婦が営む小さな宿だが、大きな宿に客を取られて人気がない。焦るほど妙な客を泊めてしまい、主（あるじ）は妻に怒られっぱなし。今夜もやっぱり粗末な身なりの男を泊めてしまい…。金は無くても約束は守るのだ！誠実さが結実する奇跡の物語。（50分）



坂口 修一・プロフィール

愛嬌のある風貌と安定した演技で多くの舞台に招かれている関西屈指の実力派俳優。一人芝居、リーディング公演、外部出演と大阪だけでなく全国各地で公演を行っている。佐藤佐吉賞 優秀主演男優（2005年度）、2022年より舞夢プロ所属。



矢内 文章・プロフィール

アトリエ・センターフォワード代表。演出家・劇作家・俳優。自らの劇団で作・演出を務めるほか、外部への作品提供、ワークショップや演劇学校での講師としても活躍中。

月亭遊方落語



月亭遊方・プロフィール

日常の笑いがテーマの新作落語が身上。「カジュアルラクゴ」と称して作品を創り続けている。また、古典落語はわかりやすく独自にアレンジ。伝統の世界を楽しく愉かに披露している。2008年繁昌亭大賞創作賞受賞。

アフタートーク

公演後に、主演者3名と上方文化笑学センターによるトークセッションを予定しています

[上方文化笑学センター：広瀬 依子（センター長／追手門学院大学 講師）、横田 修（司会／追手門学院大学 准教授）]



広瀬 依子・プロフィール

1989年、総合芸能雑誌『上方芸能』編集部入社。古典芸能から現代劇まで、関西の舞台芸能と関西文化について取材、論評等を行う。編集次長を経て、2008年～2016年の同誌終刊まで編集長をつとめる。2018年より現職。共著に『上方芸能事典』。



横田 修・プロフィール

筑波大学卒。1999年に劇団タテヨコ企画旗揚げ。自らの劇団で作・演出を務めるほか、市民参加企画への参画など、舞台芸術の魅力を市民に還元する活動へ積極的に関わる。2019年より現職。大阪現代舞台芸術協会（DIVE）理事。

会場

男女共生センターローズWAM ワムホール
大阪府茨木市元町4-7

主催（お問合せ）
追手門学院大学 上方文化笑学センター

✉ showgaku@otemon.ac.jp ☎ 072-665-5024

後援

茨木市、茨木市教育委員会、一般社団法人表現者工房

◆ 阪急「茨木市駅」下車、西へ約500m
◆ JR「茨木駅」下車、東へ約800m

